

2025年度 2学年進路通信 Vol.2(文系)

関東第一高等学校
校長 乙幡和弘
監修 進路指導部
5月26日(月)発行

先日、LHRで進路学習を実施した通り、5月～7月上旬頃にかけてオープンキャンパスの予約が始まります。コロナ以降、定員を設けるようになった大学も増え、人気校は予約開始から5分と待たず満席になってしまう、ということもあります。ただ、オープンキャンパスに行こうと思っていたとしても、「まだどこの大学を志望するか決めていない」「どこの学部に興味あるかわからない」という生徒もいて、出遅れてしまうことがあります。また、理系は学ぶ内容と将来の繋がりがわかりやすいのですが、その一方で「文学部ってどこに就職するの?」「心理学に興味あるけどカウンセラーになりたいわけでは・・・」といった悩みや相談を毎年受けています。理系コースに進んだものの、経済学部や心理学部に急遽進路変更する、といった生徒も毎年いるので、文系理系気にせず読み進めてみてください。

○文系学科は将来、何につながるの?

理系学科は、看護学科→看護師、薬学科→薬剤師、機械工学科→メカニックなどと、学ぶ分野と将来の繋がりが非常に明確です。一方、文系学科に進学する親子の悩みとして、「就職先は大丈夫ですか?」「やりたいことがないから文系を選んだけど、どの学科を選べばいいかわからない」といった質問が毎年あります。結論としては、大事にしてほしい考え方としては、その道を選んだ生徒がどのような価値観を抱き、どのような人生を歩んでいくか、ということなので、選んだ学科が将来に関係する場合もあれば、関係しない場合もあります。

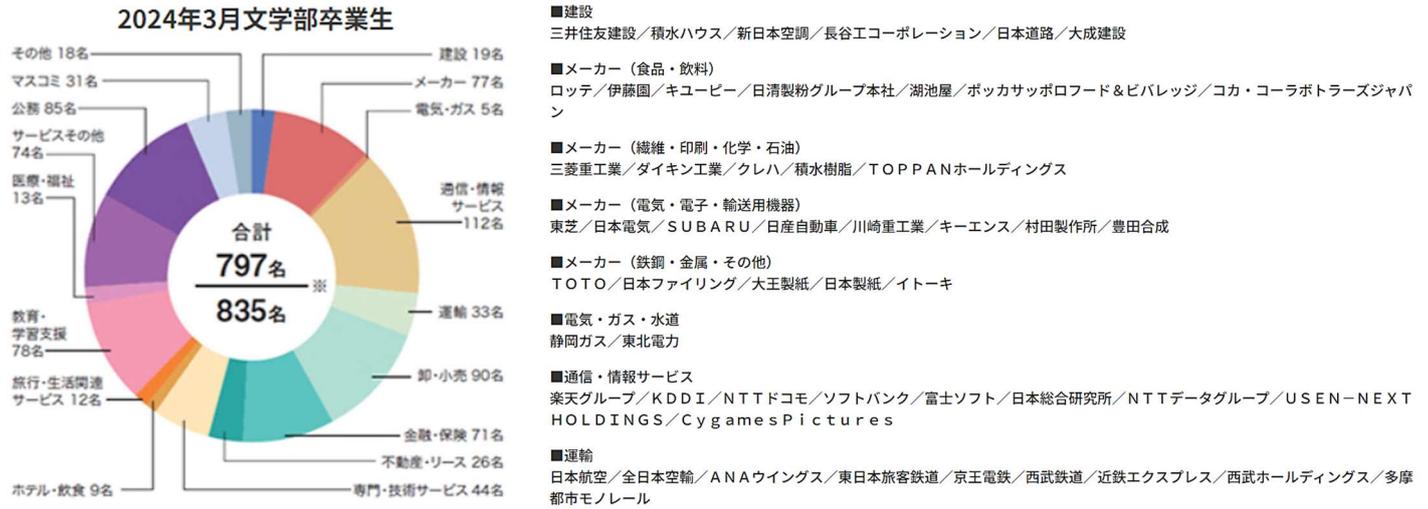
例えば、Official 髭男 dism のボーカル藤原聡さんは音楽の専門学校ではなく、島根大学法文学部法経学科を経て銀行で勤務経験がありつつも、現在はアーティストとして活躍されています。『52ヘルツのクジラたち』で知られる作家町田その子さんは、文学部ではなく美容専門学校を卒業し、いくつかの職業を経て専業主婦となった頃に小説家を志しました。

心理学者クランボルツが行った調査では、18歳のときに考えていた職業に就いている人は、わずか2%しかいなかったという結果が出ています。つまり、皆さんが「今」思い描いている職業に就いたり、キャリアを歩んだり、ということは**ほぼない**のです。皆さんの家族や周囲の人にも18歳時点で将来をどう思い描いていたか、今はどのようなキャリアを歩んでいるのか聞いてみてはどうでしょうか。思い描いた通りの人生を歩んでいる人はどのくらいいるのでしょうか。また、クランボルツは「計画的偶発性理論」を唱え、個人のキャリアの8割は自分が起こした行動や周りの環境の変化に合わせた行動を、自分で積極的にすることで決まっていくとしています。その点では、どこの大学に行くのか、どの学部に行くのかによって友人などの環境は変わりますので、周辺環境という点で大学や専門学校といった進学先は重要とも考えられます。

就職や転職をするにしても履歴書に一生書き続ける経歴として残るので、18歳時点での進路選択が人生において重要な位置づけであることには変わりません。ですが、「やりたいことがない、どうしよう」などとならず、興味のある学問を学びに行こう、将来はまたその先で考えよう、と肩肘張らずに考えてみるのもいいのではないのでしょうか。

大学に足を運んでみることでわかることもあります。まだ将来が決まっていない生徒であっても、まず足を運ぶ、という行動を起こしてみよう。そうすることで「これは違うな」と消去法で決めてみる手段を取ることができたり、逆に「ここはいいな」とビビッと感じるものもあるかもしれません。福沢諭吉も『学問のすゝめ』のなかで、「世の中で停滞しているものはなく、前に進むか後ろに退くかのどちらか」と述べています。つまり、何も行動しない現状維持の状態は実は衰退に繋がっていることとなります。家から近い、都心にある、友達についていく、様々な理由付けをしながらか、オープンキャンパスの予約という行動に移し、あわせて大学・学部・学科調べも進めていきましょう。

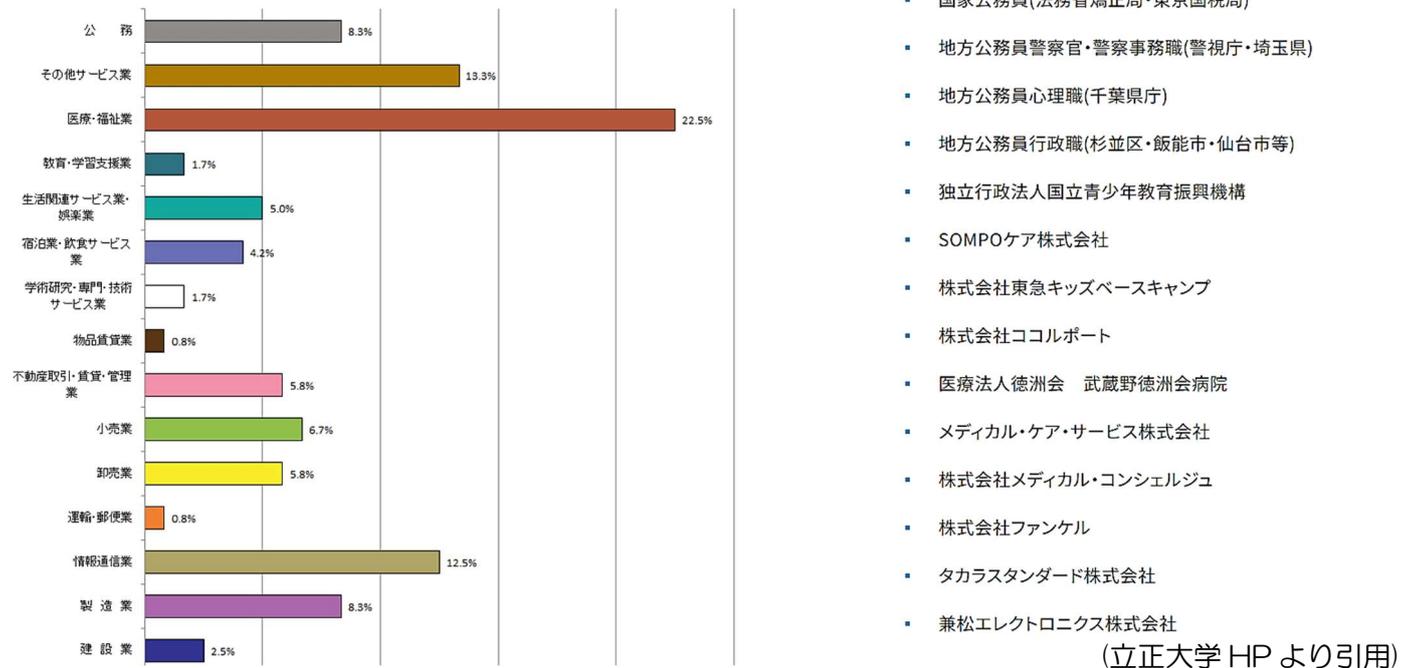
○文学部の就職状況は・・・？



(中央大学 HP より引用)

よく「文学部で学んだことは仕事に直結しないから就職に弱いのでは？」と質問を受けます。結論からいえば、文学部だから就職活動で苦労する、ということはありません。結局はその人次第です。上記資料を見てもわかる通り、文学関係なく、様々な業界へ羽ばたいています。文学・哲学・歴史学はすぐに役に立つ学問ではないかもしれませんが、いまおもしろいこと、知りたいことを一生懸命学ぶ、それがいつか必ず、何らかのかたちで生きてきます。それこそが学ぶことの意義ではないでしょうか。中央大学文学部国文学科卒業の新海誠さんが映画界で文学を活かしているのも同様です。

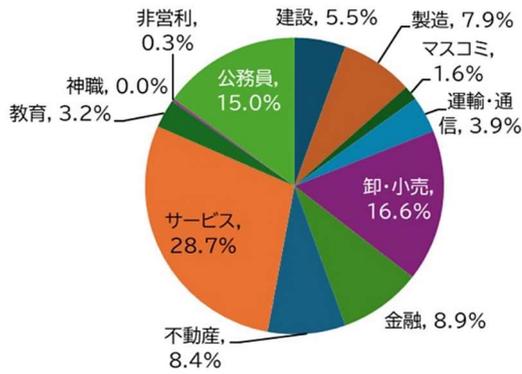
・心理学科に興味あるけど、心理士になるつもりはないんですが・・・。



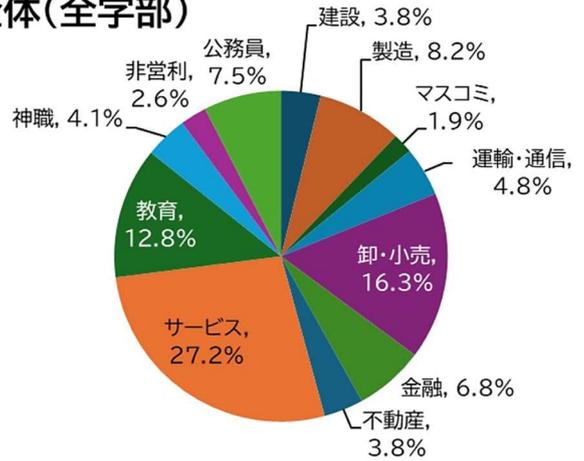
高校生に人気があるのが心理学部です。その理由は、心理テストによる性格診断や職業診断など身近な学問だからでしょう。心理学部に入学したからといって必ずしも心理士やカウンセラーになっているわけではないことは上記表からもわかると思います。興味があったら学べばいいのです。ただし、「人気がある」と書いた通り、志願者が多く集まりやすいので、どこの大学も心理学部だけ合格最低点が高く、入試難易度も高いということは知っておいてください。

○法学部って公務員になりやすいの？

法学部



全体(全学部)



ケープラス
K-PLASって
なに？

K-PLASとは**國學院大學独自の難関試験突破プログラム**です。

身近な法律を学習し、国家資格（宅建士や行政書士）の取得や、国家公務員総合職への就職を目指すコースと、簿記の資格を取り、三大資格の一つである公認会計士試験合格を目指すコースがあります。

(國學院大學 HP より引用)

上記のグラフを見ると、法学部では公務員就職者の割合が高いです。ただ、法学部に入ったから公務員になりやすい、という因果関係ではありません。法学部では公務員試験対策講座を設けている大学が多く、そのため、元々公務員を目指そうと志している受験生が法学部に集まりやすいため、必然的に就職実績でも公務員就職者が多くなるのです。

○経済学、経営学、商学って何が違うの？—マクドナルドを例に—

これら経済系3学部は学問分野が多少重なりあっていることもあって、混同されやすいです。その違いを知ること、しっかりと学部選択をしてほしいと思います。

経済学は「経済の仕組み」を考える学問です。経済とは、サービスの提供やモノの購入、消費など、お金の取引が発生する活動のことです。この経済に関する歴史や理論を研究するのが経済学です。現在、私たちは物価高に悩まされています。マクドナルドのハンバーガーも3年前は1つ100円で買ったのに、今では1つ190円です。このような物価高が進んでいる背景には、円安による海外からの輸入コスト増やロシアのウクライナ侵攻など、様々な要因が複合的に絡み合っていて、物価高の仕組みを考えるのも経済学です。

経営学は「企業活動」を考える学問です。経営資源(ヒト、モノ、カネ)に関することを学び、人で成り立つ組織として物を売り、利益となるお金で企業を動かすことができます。マクドナルドの各店舗では清潔な店舗であることをアピールして客を呼び込むため、清掃が行き届きにくそうな場所に100円硬貨を隠し、スタッフはそれを見つけながら隅々まで掃除していました。このように人を巧みに動かすことも経営戦略の一つです。

商学は「商品」について考察する学問です。流通、マーケティングといった、生産者と消費者をつなぐ「モノ」の流通を中心とした商業活動について学びます。マクドナルドはコーヒーを100円で販売し、新しい顧客を集め、来店頻度も上げて、ビッグマックをもっと売ろうと考えたのです。コーヒーはそのための道具という位置づけです。このような商品を中心とした企業活動について考えるのが商学です。

○特に興味ある学部や学科がなく困っています・・・

「将来やりたいことがない」「特にこれを学びたい」ということがなく学部選択が難しい、という生徒も一定数います。そのような生徒にお勧めしたい学部は幅広く学べる**社会学部、教養学部**です。



(法政大学デジタルパンフレットより引用)

方法科目	情報処理系	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンピューティング基礎 ■ コンピューティング応用A～D ■ プログラミング基礎A・B ■ プログラミング応用A・B
	情報科学系	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会統計学1・2 ■ データサイエンス基礎 ■ 定量データ分析方法論 ■ ビッグデータ解析方法論 ■ データサイエンス応用
	社会調査系	<ul style="list-style-type: none"> ■ 量的社会調査方法論 ■ 質的社会調査方法論 ■ 資料調査方法論
	メディア分析系	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会調査方法論基礎1 ■ 社会調査方法論基礎2 ■ Academic Writing(論文の書き方) ■ メディア分析方法論 ■ ルポライティング方法論
展開科目	社会問題とエンパワーメントコース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会問題の社会学 ■ ジェンダーの社会学 ■ 仕事の社会学 ■ 教育社会学 ■ 家族社会学 ■ ケアの社会学 ■ 福祉社会学 ■ 人口問題の社会学 ■ 不平等の社会学 ■ 開発と社会 ■ 多文化共生の人類学
	文化とアイデンティティコース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 文化社会学 ■ アイデンティティの社会学 ■ 若者の社会学 ■ 消費社会学 ■ コミュニケーションの社会学 ■ カルチュラルスタディーズ ■ セクシュアリティの社会学 ■ 宗教と社会 ■ 恋愛の社会学 ■ 文化人類学 ■ 家族と結婚の人類学
	国際社会とネットワークコース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際比較社会学 ■ 地域とコミュニティの社会学 ■ 政治社会学 ■ 都市社会学 ■ 社会運動論 ■ 現代社会と科学 ■ 歴史社会学 ■ グローバリゼーションの社会学 ■ エスニシティの社会学 ■ ナショナリズムの社会学 ■ 観光と社会
学部共通科目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現代社会の諸相 ■ メディア社会の諸相 ■ グローバル社会の諸相 ■ ホットピク特別講義 ■ データサイエンス特別講義 ■ 学部横断型課題解決プロジェクト ■ 他学科の理論科目・展開科目 	

(武蔵大学 HP より引用)

社会学は社会と人間をテーマに社会現象を多面的に研究する分野で、個人から国家レベルまで幅広く、上記カリキュラム表にあるように政治、経済、環境、都市、文化、教育、福祉、歴史、言語など扱う領域も多岐にわたります。現代社会への理解を深め、そこにある問題を解決するための広い視野を養うことができます。

大学全入時代に突入し、「大学には学ぶ目的が無ければ行く意味がない」という過去に存在していた価値観も変わってきています。学びたいことがないからどうしよう、と現状維持でいるのではなく、大学で学びながら興味・関心を広げ、その興味・関心を抱いた分野について、将来的に仕事を通してアプローチする、という考え方を

持って生きてみるのもいいかもしれませんね。